



# 榛の花

大洲小学校だより  
令和3年6月23日



文責：山本

5月の梅雨入り宣言から、1カ月以上が立ちました。夏に向かって、季節は動いています。子

供たちが育てている朝顔やひまわりは、だんだんその葉を大きく伸ばし、花を咲かせる準備に余念がありません。畑では、なすやきゅうりが実をつけ出しました。子供たちは登校すると、必ず畑の様子を見ていきます。水をあげる子。実った野菜を確認する子、葉っぱを食べて大きく太った芋虫と格闘している子。自然の中で子供たちはのびのびと育っています。

先日、1年生の保護者対象の家庭教育学級の開講式がありました。会の最後に1年生の授業や休み時間、給食の様子を見ていただきました。たった3カ月の間に、子供たちは大きく成長しています。子供たちを見つめている保護者の方々の表情は一様に笑顔で、小学校での子供たちの様子を見ていただいて本当に良かったと感じました。

開講式の中では、子供たちの自立についてのお話をさせていただきましたので、今回はそれをまとめたものを掲載いたします。



## 神様の「すご技」

### ～「カワイイ」と「ちょっと憎たらしい」の訳～

私は、以前から神様は本当にこの世の中をうまい具合に創っているな・・・と、感じるがあります。今回は、生き物が「自立」に向かうシステムについて、考えてみたいと思います。

この世の中の生き物は、生まれてからしばらくは、とても可愛らしい様相をしています。犬や猫の赤ちゃんも、柔らかい毛に覆われて、「ホワンホワン」しています。見ているだけで引き寄せられ触りたくなります。赤ちゃんなのに、なんだか憎たらしい雰囲気や周囲に与える生き物を私は知りません。人間の赤ちゃんも同じように可愛らしいですよ。知り合いが赤ちゃんを抱っこしていたりすると、周囲に人が集まってきて、みんなであやしたり、かわりばんこに抱いたりして世話をしたくなります。こういった感覚は理屈ではありません。その存在自体が、周囲の生き物を引きつけるのです。この現象は、自分の力で生きていくことが難しい生まれたての生き物を、比較的自立した仲間たちが世話をしたり助けたりすることで、守りながら育てていくことができるシステムだと私は常々感じていました。



しかし、このシステムは永遠に続くわけではありません。やがて、「自立」の時を迎えます。みんなが世話をして、守ってあげないと生きていくことができない「カワイイ」時期はだんだん終わりを告げ、大人の手を離れ、自分の意思と自分の足で自分の人生を歩いていく時を迎えるのです。この頃、子供たちの様子は幼少期とは異なります。なんとなく生意気になって、明確に「反抗期」がやって来る子もいます。口数はめっきり減り、いつも不機嫌な表情。ひどいときには悪態をついたりします。物にあたる子もいます。大人や社会への反抗は、「自分にも考えがあるのだ」という、子供たちの主張なのです。でも、この時大人が過度に干渉たり甘やかしたりしすぎると、子供たちの自立はうまくいきません。世話をしないと生きていけない時は「可愛らしく」、大人の手から離れて「自立」に向かう時には「生意気」になって、ひとりの大人に育つためのシステム。神様は、なんとという見事なシステムを創ったのでしょうか。そして私たち大人は、このシステム移行の時を、子供たちと一緒に乗り越えなくてはならないのです。



子供の成長に合わせた関わり方。絶妙なバランス感。そんなうまくはいかないけれど、まっすぐ子供たちと向き合いたいですね。どちらにしても子育ての期間は思ったより短く、気がつくとも子供たちは私たち大人の手から離れてしまっているものなのです。だから、今を大切にしましょう。子供たちとの時間を、うんと楽しみたいものです。

子供の成長に合わせた関わり方。絶妙なバランス感。そんなうまくはいかないけれど、まっすぐ子供たちと向き合いたいですね。どちらにしても子育ての期間は思ったより短く、気がつくとも子供たちは私たち大人の手から離れてしまっているものなのです。だから、今を大切にしましょう。子供たちとの時間を、うんと楽しみたいものです。

## 動き出した大洲小のGIGAスクール構想

朝校舎を回ると、静まりかえった教室の中から、タイピングの音（\*タブレットのキーボードを打っている音）が響いてくる学級があります。タブレットを使った学習がよりスムーズにできるように、朝の活動の時間にタイピング練習をしているのです。4月より、児童1人につき1台のタブレットを使うことができる環境が整えられました。先週、5・6年生はタブレットを自宅へ持ち帰り接続テストを完了しています。授業の中でも、タブレットを使った学習が多く見られるようになりました。これまでの学校生活では、経験したことのない学習形態ですが、これからの学校や社会の中では無くてはならないツールとなってくるのがPCなのでしょう。

本校では、状況が整い次第、取組をスタートさせたいと思っています。大切なのは、しっかりとルールを確認したら、「習うより慣れろ」といった考え方で、学校体制で取組を進めていくことです。子供たちの吸収力は、驚くべきものがあります。私たち大人の学習能力など比べものになりません。学年の力に応じて、臆することなく取組を進めていきたいと思っていますので、御協力をお願いします。不明な点や不具合が出ましたら、学校までご相談ください。



みんなも今日から節電しよう！  
私たちにできる節電方法

- 1. 授業のきっかけ**  
今、学校の中で使われている電気の中には、必要のない余分なものがたくさんあると思います。それに、電気を使うための発電の際に出る排出ガスなどは、環境破壊につながりもします。このような事柄も、私たちの身近な問題で扱われるのではないでしょうか。  
実際に、館内の教室に電気がついていたり、席などが、税金で負担している大洲小の電気代もかなり高くなってしまっています。  
以上のことから、私たちのグループでは、次の提案をします。
- 2. 提案**  
学校全体で節電するために学校内にある掲示版に、ポスターをはることを提案します。  
これは、どの学年でも分かりやすいグラフ、または絵をポスターにのせれば、節電に協力してもらいやすいという理由からです。
- 3. 具体的な内容**  
今、大洲小学校では1日に約1000台も電気を使っています。そのなかから身の回りには、約12台が4日です。  
その電気をすこしでもへらすために節電します。  
1. 使わない時はコード抜いておく  
これをすると、むだな電気を減らすことができます。  
2. エアコンのきり目を閉め  
たたないままエアコンの自動で節電をたくしうとうとして電気をたくさんかかってもうからずです。  
このような事をして節電をしていきましょう。
- 4. 実現したときの効果**  
このような節電をすれば、さらによい社会になると思います。お金の使い道もどんどん増えてゆき、環境にもよい社会になります。たくさんの方が、元気に暮らせるようにみんなが努力し、積極的に節電をしていきましょう。

6年生が作成したレポート

### ◆ 7月の予定 ◆

- 1日（木）音楽鑑賞教室  
青少年健全育成委員会
- 2日（金）6年社会見学 登呂遺跡
- 6日（火）6年ジュニア防災士講座

- 9日（金）PTA常任委員会
- 13日（火）5年薬学講座
- 13～16日 面談
- 22～8/25 夏休み・トイレ工事

